学校番号	１０６

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第２学年	PRO-VISION English CommunicationⅡ

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう

２　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）及び「英語表現Ⅱ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価
・英語で論理的に考え、表現できる。 ・自分のことや身の回りのことについ説明を求められても、即興で適切に応答することができる。 ・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。	コミュⅡ プレゼンテーション・ディベート	・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。	コミュⅡ 定期考査	・標準的なリスニング力がある。 ・ディベートや物の政策など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそのとおりに行うことができる。 ・趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ・ダンスや物の制作など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそのとおり行うことができる。	コミュⅡ 小テスト	・標準的な長文読解力がある。 ・有名人物の伝記やエッセイなどの英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ・有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ・簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	コミュⅡ 定期考査

３　学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を実に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 （８時間） The freedom to Be Yourself	<生き方> 国外に出てボーダレスに生きている「ﾃﾙﾏｴ・ﾛﾏｴ」の漫画家ﾔﾏｻﾞｷﾏﾘ氏の哲学について学ぶ ・過去を回想して語る表現 ・過去の習慣を表す would ・過去分詞で始まる分詞構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・人類の多様性を受け入れ，自己の興味・関心と適性を生かして自らの進むべき道を開拓する漫画家ヤマザキマリ氏が自らの人生を語った英文を読み取る。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・簡単な自己紹介をし、自分の夢や進むべき道について積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・漫画家ヤマザキマリ氏に関して興味をひかれた事柄について、適切に書く。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	自分の興味、関心事についての考えを書いて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ヤマザキマリ氏の経歴や国外での経験について読んだことを理解する。読んで，内容を理解する	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともにその内容を理解する。	・ヤマザキマリ氏の経歴や国外での経験について読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・過去を回想して語る表現を理解する	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・過去を回想して語る表現及び過去の習慣を表す would の使い方を理解できる。 ・過去分詞で始まる分詞構文の使い方を理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 2 （８時間） Are You Really a Sloth?	<動物> 西洋社会から怠惰のレッテルを貼られたナマケモノが森と共生して平和に暮らすようすを描いた英文を読んで，内容を理解する。 ・現在のことを語る表現 ・助動詞＋have+過去分詞 ・完了形の分詞構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ 人々のナマケモノに対する見方について読み取る	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・ナマケモノについて学んだことを、間違いを恐れず、積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、ナマケモノについて自分の意見を書く。	・ナマケモノの暮らし方についてグループで互いに発表しあう。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、職業や日本文化に対する考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ナマケモノの生活についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・ナマケモノの生活について読み、情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・現在のことを語る表現を学ぶ ・助動詞＋have+過去分詞を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在のことを語る表現、助動詞＋have+過去分詞を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 （８時間） Mount Fuji-The Eternal Mountain	<日本文化 > ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山を通じて，日本の伝統文化や他国に与えた影響を描いた英文を読んで，内容を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山について知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・富士山について知っていることや考えていることを積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・富士山を描いた芸術作品についての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・富士山を描いた芸術作品についての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山の環境破壊について読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山について、読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・無生物主語の構文、結果を表す不定詞について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・無生物主語の構文や結果を表す不定詞について理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 4 （8 時間） Handwriting in the Digital Age	<社会> デジタル化社会における手書きの効用を描いた英文を読んで学ぶ ・形容詞の叙述用法 ・倒置 ・前置詞＋関係詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・デジタル化社会における手書きの効用を描いた英文を読んで考えていることを積極的に話す。	・セクションごとの内容に対する意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、グループで伝え合う。	・デジタル化社会における手書きについて知っている情報や考えていることを積極的に話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・手書きの効用について学んだ事をまとめて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてグループで相談しながら考えをまとめていく。	・手書きの効用について学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・手書きの効用について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・手書きの効用について、読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・形容詞の叙述用法や倒置が使われている表現を読み取る。 ・前置詞＋関係詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・・形容詞の叙述用法や倒置が使われている表現を読み取ることができる。 ・前置詞＋関係詞の使い方を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 （８時間） Designed to Change the World	<デザイン> デザインの力で開発途上国の人びとの暮らしを変える取り組みを描いた英文を読みとる. ・後置修飾 ・関係副詞の非制限用法及び複合関係詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・開発途上国での生活について知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・開発途上国での生活について知っている情報や考えていることを積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・デザインの力で開発途上国の人びとの暮らしを変える取り組みについての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・デザインの力で開発途上国の人びとの暮らしを変える取り組みについて自分の考えを、聞き手に伝わるように話す。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・デザインの力で開発途上国の人びとの暮らしを変える取り組みについて、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・デザインの力で開発途上国の人びとの暮らしを変える取り組みについて、読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・後置修飾を読み取り、内容を理解する。 ・関係副詞の非制限用法及び複合関係詞について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	後置修飾・関係副詞の非制限用法及び複合関係詞について理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 6 （８時間） The First Olympics	<歴史> 古代オリンピック発祥から近代オリンピック復活までの歴史を説明した英文を読む。 ・否定構文 ・挿入 ・with+名詞＋～	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ 古代オリンピック発祥から近代オリンピック復活までの歴史について積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・古代オリンピック発祥から近代オリンピック復活までの歴史について積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・オリンピックの歴史について書いて、それを聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・オリンピックの歴史についてわかったことを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・古代オリンピックから近代オリンピック復活までの歴史について理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・古代オリンピックから近代オリンピックまでの歴史について理解できる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・否定構文や挿入を理解する。 with+名詞＋～を使って英文を書ける	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・否定構文や挿入を理解する。 with+名詞＋～を使って英文を書くことができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 （８時間） The Dark, Mysterious Universe Deep under the Ocean	<自然科学 > さまざまな深海生物の生態を知り，宇宙生命が存在する可能性までを考察した英文を読む ・比較構文 ・不定詞 ・副詞的表現 ・	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・深海生物の生態について知ったことを積極的に話す。	・セクションごとの内容に対する意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、グループで伝え合う。	・深海生物の生態について知ったことを積極的に話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・深海生物の生態について学んだことや知ったことを聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・深海生物の生態について学んだことや知ったことを聞き手に伝わるように話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・深海生物の生態について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・深海生物の生態について、読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・比較構文について理解する。 ・不定詞、・副詞的表現について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・比較構文について理解できる。 ・不定詞、・副詞的表現ににについて理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 8 （８時間） The Story of the Teddy Bear	<ものづくり> ハンディキャップを乗り越え，世界中の人に愛され親しまれているテディベアを製作したマルガレーテ・シュタイフの人生を描いた英文を読む。 ・仮定法構文 ・省略 ・there を用いた表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・テディベアについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・テディベアについて知っている情報や考えていることを積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・テディベアについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・ テディベアについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・テディベアについて読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・テディベアについて読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・仮定法構文を理解する。 ・省略や there を用いた表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法構文、省略 ・there を用いた表現について理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 （８時間） Laughter is the Best Medicine	<心理学> 笑いのメカニズムを科学的・心理学的・社会学的観点から考察した英文を読む ・名詞節 ・seem to / It seems that 節 ・直接話法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・笑いについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・笑いについて知っている情報や考えていることを積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・笑いが切り開く未来ついて学んだことをまとめ、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・笑いが切り開く未来ついて学んだことをまとめ、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・笑いが人々に与える影響について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・笑いが人々に与える影響について、読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・名詞節、seem to / It seems that 節の使い方を理解する。 ・直接話法とは何かを理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・・名詞節、seem to / It seems that 節 ・直接話法を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 10 （８時間） The Underground Reporters	<戦争> ナチスによる迫害を受けたユダヤ人の少年少女たちが，自分たちの自由と誇りを守るために手作りの新聞を発行した史実を描いた英文を読む。 ・接続詞 ・ suggest that + S should ・be + to do	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ユダヤ人やナチスについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・ユダヤ人やナチスについて知っている情報や考えていることを積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ユダヤ人やナチスについての意識について学んだことを、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・ユダヤ人やナチスについての意識について学んだことを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ユダヤ人やナチスについての意識について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・ユダヤ人やナチスについての意識について、読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		・接続詞の使い方を理解する。 ・suggest that + S should+原形を理解する。 ・be + to do を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・接続詞の使い方、 ・suggest that + S should+原形、be + to do について理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。